

令和2年度  
レイカディア大学同窓会大津支部

第36回  
**総 会 議 案 書**

開催日：令和2年4月9日（木）

場 所：滋賀県立長寿社会福祉センター  
（レイカディア大学草津校）  
大 教 室

受 付：午後1時～

時 間：午後1時30分～3時30分

# 総 会 次 第

- 1 開会のことば
- 2 支部長挨拶
- 3 議長選出
- 4 議案審議
  - 第1号議案 2019年度事業報告
  - 第2号議案 2019年度収支決算及び監査報告
  - 第3号議案 会則の一部改定（案）
  - 第4号議案 役員の改選（案）
  - 第5号議案 令和2年度事業計画（案）
  - 第6号議案 令和2年度収支予算（案）
- 5 議長降壇
- 6 新旧役員交代挨拶
- 7 閉会のことば

# 第1号議案 2019年度事業報告

## 1. 全体事業（摘要）

- 1) 支部総会 4月11日 レイ大大教室 出席者70名（委任状158名）
- 2) 執行役員会・役員会 年間各8回開催
- 3) 本部関係 常任理事会；年間5回、理事会；2回  
総会；4月24日 55名参加（全体148名）
- 4) サポートの会関係 調整会議；年12回、レイカディアの日；5月30日 地球市民の森とみさき自然公園 13名参加、全体説明会；9月19日
- 5) コスモアースコンシャスアクトクリーン・キャンペーン in 草津 6月10日 12名
- 6) 活動報告書の見直しと改訂及びホームページの体裁見直し
- 7) 知名度向上プロジェクトの立上げと活動 6～3月
- 8) 学生募集支援活動 於：イオン大津京店及び草津店、アルプラザ瀬田店及び堅田店  
5～7月 計8回 66名参加
- 9) 三日月知事講演会 7月8日 レイ大草津校大教室 66名参加（全体255名）
- 10) 大津市長 越 直美氏と当支部とのミーティング 8月27日 市役所 9名出席
- 11) 40期新入会員歓迎会&レイカ大津の集い 10月18日（金）生涯学習センター  
129名参加（40期新入会員23名、39期新入会員3名、在校生4名）
- 12) 第2回生涯学習推進フォーラム 10月22日 北部地域文化センター 12名参加
- 13) 第12回地域活動事例発表会 11月18日（月）近江八幡ひまわり館 15名参加  
「大津支部の会報誌『かけはし よもやま話』」と題して松岡克実氏発表
- 14) 大津市教育功労賞の受賞 12月20日 大津市役所 2名出席
- 15) 新年会開催 2月5日 びわこ千松 86名参加（40期会員10名参加）
- 16) レイ大必修講座聴講（無料）

2020年3月6日にレイ大草津校で実施される予定であったが、新型コロナウイルス感染対策によるレイ大休館のため中止

（演題：高齢期を楽しく過ごすために 講師；大津市社協 森野 道代氏）

- 17) 42期生・地域活動体験学習ガイダンス 3月13日開催予定がレイ大休館のため延期
- 18) イキイキ三世代ふれあい祭り 平和堂坂本店で3月28～29日に開催予定が新型コロナウイルス感染対策のため延期
- 19) 助成金関係

今年度申請12件 採択4件 不採択6件 未決2件

採択明細：地域社会活動提案事業（滋賀県職員互助会）1件、緑と水の基金（関西みらい銀行）1件 赤い羽根チャレンジ事業助成 1件、夏原グラント 1件

昨年度に採択された生命保険協会の「元気シニア応援助成金」をボランティア保険料と剪定道具購入に充当し、今年度採択の助成金をもとに“レイ大同窓会大津支部”を明記したビブス70着と横断幕4張り及び剪定道具を購入 地域活動で活用

## 2. 5部会事業

- 1) 健康部会 グラウンドゴルフ大会2回 ディスコン大会1回  
室内スポーツ大会(新企画)2回（うち1回はレイ大休館のため中止）
- 2) 文化部会 作品展 市民体験陶芸講座 イキイキ三世代ふれあい祭り（延期）、各サークル活動
- 3) 研修部会 健康講座、原発講座、関電大飯原発見学、そば打ち体験、美術館出前講座

4) 地域活動部会 小学校支援、大津祭、スッキリ士隊、ヨシ刈、囲碁・将棋対局、ゲームコンダクター事業

5) 広報部会 支部会報誌「かけはし」4回発行、ホームページ改訂と更新

### 3. 市民へ発信講座

1) 出前講座 囲碁・将棋対局、マジック出前演技

2) 市民参加 パソコン同好会、絵手紙同好会、書道同好会

3) 市民陶芸体験講座 2回

### 4. 小学校支援活動の取り組み（3月20日迄）

活動個所 29 個所(小学校 24 校、幼稚園 4 園、児童クラブ 1 箇所) 延べ 995 名参加

### 5. 地域活動（3月20日迄）

1) まちなか応援 年間 61 回 延べ 299 名参加

2) 地域ミーティング 比叡地域：4回、中央地域：3回、石山地域：3回、瀬田地域 4回

各事業の詳細は次のとおり

### 1. 全体事業

月	日	曜日	事業内容
4	11	木	第 35 回支部総会 出席者 70 名 レイカディア大学大教室
4	11	木	第 1 回執行役員会 新役員 17 名 レイカディア大学大教室
4	24	水	本部総会 大津支部 55 名参加 (全体 148 名)
5	22	水	第 1 回役員会 出席者 43 名 生涯学習センター
5	30	水	サポート隊レイカディアの日 13 名参加 (全体約 200 名) 地球市民の森
6	5	水	第 2 回執行役員会 出席者 17 名 生涯学習センター
6	14	金	知名度向上プロジェクト立上げ以降、ほぼ各月プロジェクト会議実施
6	16	日	コスモアースコンシャスアクトクリーン・キャンペーン in 草津 12 名参加
6	24	月	生涯学習推進会議 評議委員会 1 名出席 大津市役所
6	27	木	第 2 回役員会 出席者 53 名 生涯学習センター
7	8	月	三日月知事講演会 66 名参加 (総出席者 255 名) レイ大大教室
7	16	火	越市長が長等小学校の校庭美化作業を視察
8	1	木	レイカディア大学祭ステージ演芸 34 期健レクとして笑いヨガを発表
8	3	土	第 5 回小学生低学年 3 種目競技大会 9 名参加 皇子山競技場
8	9	金	第 3 回執行役員会 出席者 18 名 生涯学習センター
8	27	火	大津市長ミーティング 出席者 9 名 大津市役所
8	28	水	第 3 回役員会 出席者 60 名 生涯学習センター
9	4	水	第 4 回執行役員会 出席者 15 名 生涯学習センター
9	9	月	生涯学習推進会議 評議委員会 1 名出席 大津市役所
9	19	木	第 8 期サポートの会 全体説明会
9	25	水	第 4 回役員会 出席者 52 名 生涯学習センター
10	13	日	大津祭り支援 20 名参加
10	18	金	新入会員歓迎会&レイカ大津の集い 129 名参加 生涯学習センター
10	22	火	第 2 回生涯学習推進フォーラム 12 名参加 北部地域文化センター
11	6	水	第 5 回執行役員会 出席者 15 名 生涯学習センター

11	18	月	第12回地域活動事例発表会 15名参加 近江八幡市ひまわり館 「大津支部の会報誌『かけはし よもやま話』」松岡克実氏発表
11	21	木	大津市小学校長会 2名出席 大津市役所
11	26	火	第5回役員会 出席者53名 生涯学習センター
12	6	金	第6回執行役員会 出席者14名 生涯学習センター
12	20	金	大津市表彰式 教育功労賞受賞 2名出席 大津市役所
12	24	火	第6回役員会 出席者62名 生涯学習センター
1	26	日	市民ヨシ刈 21名参加 雄琴地区湖岸
2	5	水	大津支部新年会 86名参加 びわこ千松
2	7	金	第7回執行役員会 出席者18名 生涯学習センター
2	26	水	第7回役員会 出席者55名 生涯学習センター
3	4	水	第8回執行役員会 出席者17名 生涯学習センター
3	6	金	必修講座聴講 レイ大草津校休校のため中止
3	13	金	42期生・地域活動体験学習ガイダンス レイ大草津校休校のため延期
3	24	火	第8回役員会 出席者54名 生涯学習センター

## 2. 5 部会事業

### 1) 健康部会活動

月	日	曜日	活 動 内 容
4	26	金	第1回グラウンドゴルフ大会 41名参加 矢橋帰帆島公園
6	14	金	第2回グラウンドゴルフ大会 26名参加 びわこ文化公園
7	16	火	第1回室内スポーツ大会 33名参加 レイカディア大学体育室と周辺
9	29	日	第1回ディスコン大会（瀬田シニアクラブと共催）17名参加 瀬田市民センター
11	1	金	第3回グラウンドゴルフ大会 42名参加 矢橋帰帆島公園 草津支部合同
3	17	火	第2回室内スポーツ大会 （レイ大休館のため中止）

### 2) 文化部会活動

月	日	曜日	活 動 内 容
4	18～20	木～土	大津支部作品展 出展者58名 総数125点 163名来場 生涯学習センター
5	16	木	第1回市民陶芸体験講座 23名参加 講師14名 生涯学習センター
10	11	金	第2回市民陶芸体験講座 25名参加 講師12名 生涯学習センター

#### サークル活動

サークル名	活動回数	参加人数	内在校生	内協力者
マジック・サークル出前演技	44	79	0	0
書道同好会	23	180	0	0
パソコン同好会	23	225	0	26
絵手紙同好会	11	137	0	0

3) 研修部会活動

月	日	曜日	活 動 内 容
7	22	月	健康講座「ヘルペスってどんな病気」 29名参加 大津市民病院
8	7	水	原子力発電についての勉強会 三澤教授(京大) 29名参加 生涯学習センター
9	18	水	関西電力大飯原子力発電所見学バス旅行 31名参加 大飯原発
11	12	火	そば打ち体験 19名参加 長寿社会福祉センター調理室
1	22	水	近代美出前講座「滋賀のオール・ブリュット」28名参加 生涯学習センター

4) 地域活動部会 (3月20日迄)

分類	支援項目	回数	参加者数	内 在校生	内 一般	延作業時間
小学校 (24) 児童クラブ (1) 幼稚園 (4) 支援活動	校庭美化活動	65	501	10	2	1100.5
	校庭花づくり活動	79	162	3	35	319.9
	図書整理活動	77	253	46	23	394.1
	縫製・PC・昔遊び支援	33	79	5	18	112.5
<b>小学校・児童クラブ・幼稚園 支援活動 総合計</b>		<b>254</b>	<b>995</b>	<b>64</b>	<b>78</b>	<b>1925.0</b>
まちなか支援活動 (外部の講習会、外部の事前会議等の参加含む)	スッキリ士隊	3	18	0	0	21.7
	建部大社境内美化	4	24	0	0	42.4
	囲碁対局	10	22	0	0	45.3
	将棋対局	20	21	0	0	42.0
	瀬田川畔掃除	1	7	0	0	7
	大津祭り支援	7箇所	20	1	4	105.0
	ヨシ刈りボランティア	3	41	6	1	69.0
	コスモアースコンシャスアクトクリーン・キャンペーン	1	17	0	0	51.0
	やよい作業所ボランティア	8	31	0	0	158.5
スポーツゲームボランティア	4	98	17	2	210.4	
<b>まちなか支援活動 総合計</b>		<b>61</b>	<b>299</b>	<b>24</b>	<b>7</b>	<b>752.8</b>
学生募集支援活動	平和堂店頭学生募集要項配布	4	36	0	1	58.0
	イオン店頭学生募集要項配布	3	30	0	0	58.3
<b>学生募集支援活動 総合計</b>		<b>7</b>	<b>66</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>116.3</b>
作品展支援活動	シルバー作品展 監視員	5	10	0	0	67.5
レイカディアの日	地球市民の森ボランティア	1	13	0	0	39.0
地域ミーティング	比叡地域	4	75	3	2	166.2
	中央地域	3	53	0	0	143.2
	石山地域	3	50	0	0	114.0
	瀬田地域	4	115	2	5	307.5
<b>合計</b>		<b>14</b>	<b>293</b>	<b>5</b>	<b>7</b>	<b>730.9</b>

## 5) 広報部会活動

月	日	曜日	活 動 内 容
6	27	水	会報誌「かけはし 65 号」発刊
9	25	水	会報誌「かけはし 66 号」発刊
12	24	火	会報誌「かけはし 67 号」発刊
3	24	火	会報誌「かけはし 68 号」発刊

### ホームページ関係

#### ① ホームページ掲載

ホームページのデザインを変更し、より見やすく、かつ内容を充実させた。

活動報告の掲載体裁を変更し、内部向け報告そのままは止め、広く一般にアピールする体裁にした。

#### ② ホームページ掲載回数

4～2月迄の新しい記事の掲載件数は153件で、2日に1回のペースであった。





第2号議案

2019年(令和元年)度 収支決算(案)

自 2019年4月1日

至 2020年3月31日

(収入の部)

(単位:円)

科目	予算額(A)	決算額(B)	差引額(A-B)	備考
繰越金	180,907	180,907	0	
会費収入	451,000	479,000	△ 28,000	普通会員 223名×2,000円 (夫婦1組+新・途中会員 32名)×1,000円
雑収入	5,000	17,602	△ 12,602	黄色いレシートキャンペーン 寄付 本部より地域活動費補助
合計	636,907	677,509	△ 40,602	会員増及びレシートキャンペーンの収益による

(支出の部)

(単位:円)

科目	予算額(A)	決算額(B)	差引額(A-B)	備考		
同窓会本部会費	118,000	128,000	△ 10,000	本部への納入金 224名×500円 新入会員分 32名×500円		
事業費	健康部会	30,000	24,133	5,867	会場費、消耗品購入費、	
	文化部会	28,000	27,786	214	作品展の借室料・記念品代 書道同好会活動費 マジック同好会消耗品補助 4,235円	
	研修部会	30,000	26,609	3,391	研修会ガイド費用等	
	地域活動部会	61,000	126,754	△ 65,754		
	内訳	地域活動費	33,000	112,254	△ 79,254	横断幕(作業PR用)38,000円 ビブス55,000円、 剪定道具等18,600円+166円
	地域活動支援費	28,000	14,500	13,500	地域ミーティング補助	
	広報部会	57,000	52,828	4,172	かけはし発行(65号から68号)4回	
計	206,000	258,110	△ 52,110			
イベント	新入会員歓迎会&レイカ大津の集い	72,000	66,273	5,727	会場使用料他	
	生涯学習推進フォーラム	2,000	0	2,000		
	新年会	12,000	11,638	362	ビンゴゲーム景品代等	
計	86,000	77,911	8,089			
総務費	57,000	50,827	6,173	総会関係費、役員会部屋代、おおつ環境 フォーラム年会費等		
交通費	3,000	1,920	1,080	駐車料金		
通信費	8,000	3,905	4,095	郵送料(会報かけはし外部発信 助成金申請書 発送)等		
事務費	38,000	14,761	23,239	役員会用資料印刷費		
雑費	7,000	3,006	3,994	本部送金手数料 知名度向上プロジェクト 経費等		
予備費	113,907		113,907			
支出の部合計	636,907	538,440	98,467			
次期繰越金		139,069	△139,069			
合計	636,907	677,509	△ 40,602	横断幕、ビブス等認知度向上グッズ購入経費		

収入合計 677,509円から 支出合計 538,440円を差し引いた金額

139,069円を次年度に繰り越します

以上のとおり報告します。

会計 釜淵 佳明



上記決算内容について監査の結果相違ないことを認めます。

令和2年4月1日

監事 荒木 博美



監事 大塚 庸行



## 第2号議案 【参考 その他の実績】

### 1、助成金 生命保険協会・元気シニア応援助成金 (単位：円)

助成金額	83,000円
------	---------

助成内訳	数量	単価	金額
ボランティア活動保険 (4/1)	140	350	49,000
同上	11	350	3,850
ボランティア活動保険 (5/7)	8	350	2,800
同上 (10月)	13	350	4,550
刈込み鋏 (瀬田地域用)	3	5,220	15,660
革手袋 (サイズM, L, LL)	12		7,306
合計			83,166
助成金超過額			166

(内) 助成金83,000円

大津支部予算より補填 (地域活動費)

### 2、助成金 (関西みらい銀行／緑と水の基金) (単位：円)

助成金額	138,000
------	---------

#### 助成対象購入物品内訳

物品名	数量	単価	金額
生垣バリカン(マキタ350 <sup>3</sup> )	4	9,680	38,720
充電式ヘッジトリマー	4	11,800	47,200
生垣バリカン(マキタ替刃)	6	4,080	24,480
高枝鋏(ニシガキ40ミリ)	4	5,580	22,320
刈込みハサミ (12ミリ)	6	3,980	23,880
横断幕	4	9,500	38,000
合計			194,600
助成金超過額			56,600

(内) 助成金138,000円

大津支部予算より補填 (地域活動費)

### 3. 助成金 (滋賀県職員互助会) (単位：円)

助成金額	55,000
------	--------

#### 購入物品内訳

物品名	数量	単価	金額
活動用ビブス	70		110,000
合計			110,000
助成金超過額			55,000

(内) 助成金55,000円

大津支部予算より補填 (地域活動費)

### 第3号議案 会則の一部改定

会則条項の太字部分改訂を提案します。会則の施行日は令和2年4月1日とします。

#### 1. 役員 [役員 の 追補]

##### 提案趣旨

ホームページ担当と各行事実行委員長を役員として第8条第10号と第11号に追加し、主体行事は実行委員長を中心に取り組みます。

第8条 この会に次の役員を置く。

(1) 支部長 1名 (2) 副支部長 4名 (3) 部会長 5名 (4) 事務局長 1名 (5) 事務局次長 1名 (6) 会計 1名 (7) 理事 原則として各地区 1名 (8) 幹事 各地区に若干名 (9) 監事 2名 (10) ホームページ担当 1名 (11) 新入会員歓迎会&大津の集いと新年会の実行委員長 各1名

2 この会に顧問と事務局員を置くことができる。

#### 2. 役員の選任 [選考委員会の対象役員追加ほか]

##### 提案趣旨

- ・第9条第1号選考委員会の候補者選出の拡大(副支部長、部会長、事務局次長、監事、顧問、ホームページ担当者)を第9条第1項で行い、円滑な人選を目指します。また、選考委員会のメンバーとして事務局次長を追加し、充実化を図ります。
- ・副支部長候補者の選出は、対象を地域内の理事及び幹事に拡大し、地域内会員の意向に沿うよう互選の枠を広げます。
- ・事務局員の選出は、各地域連絡網の担当者として副支部長の意向を重視するため、第9条第3号に副支部長を追加します。事務局次長は選考委員会の選出につき、除外します。
- ・監事の第9条第4号の不要箇所を削除し、兼職制限を明確化します。
- ・第9条第7号において、事務局員の選出は第9条第3号に記載のため削除します。
- ・各行事実行委員長の選出方法と新年会当番制を明記。第9条第8号として追加し、行事運営の円滑化に資するようにします。

第9条 役員の選任は次によるものとする。

- (1) 支部長、副支部長、部会長、事務局長、事務局次長、会計、監事、顧問及びホームページ担当は選考委員会(支部長、事務局長、事務局次長、会計、副支部長、各部会長等を含む支部長指名者で構成)において推薦し、執行役員会及び役員会で協議し、総会において決定する。(注)
- (2) 副支部長は、原則として第7条の地域(4地域)の理事と幹事の中から、所属役員の互選により各1名を候補者に選出する。
- (3) 事務局次長及び事務局員は支部長、副支部長、事務局長が協議し選出し、執行役員会及び役員会にはかり決定する。
- (4) 監事は~~役員会において選出し、総会において決定する。~~第8条に記載の理事と幹事を除く他の役員を兼務することはできない。
- (5) 理事は、第7条の地区の幹事の中から1名を互選する。
- (6) 幹事は、第7条の地区から選出する。
- (7) 本部理事及び事務局員は、支部長が役員会にはかり決定する。

(8)新入会員迎会&大津の集い及び新年会の正副実行委員長は、各地域から2名ずつ選ばれた担当役員の互選によって各1名を選出する。但し新年会の実行委員長は各地域の輪番制とする。

(注) 第6条2(3)に記載の部会長の決定は、本条(1)によるものに改訂する。

### 3. 役員の任務 [顧問ほかの任務追加]

#### 提案趣旨

顧問、ホームページ担当及び各行事実行委員長の役目を第10条第7号、第11号、第12号に追加し明確化します。追加にあたり、現行の第7号以下を順次繰り下げます。

第10条 役員の任務は次による。

(1) 支部長はこの会を代表し、会務を統括する。

(2) 副支部長は各地域を代表し、地域を取りまとめ会務の執行にあたる。

(3) 部会長は、本会の目的達成のために担当事業を主管し執行する。

(4) 事務局長は支部長を補佐し、この会の会務執行に関する調整、事務事項の取りまとめを行う。

(5) 事務局次長は事務局長を補佐し、事務局員は事務局次長を補佐する。

(6) 会計はこの会の会計事務を担当する。

(7)顧問は、会務に関する助言を行う。

(8) 理事は地区を統括し役員会の構成員として会務の執行にあたり、資料配付の主担当とする。

(9) 幹事は理事を補佐するとともに役員会の構成員として会務の執行にあたる。

(10) 監事はこの会の会計を監査する。

(11) ホームページ担当はホームページを作成し、維持管理する。

(12) 第8条(11)記載の実行委員長は、各事業に関わる責務を遂行する。

### 4. 執行役員会及び役員会 [構成役員追補]

#### 提案趣旨

- ・ 執行役員会の構成員に監事及びホームページ担当を第13条第3項に追加し、会議の円滑化、充実化を図ります。
- ・ 役員会の構成員に各行事実行委員長を第13条第5項に追加し、協議の充実化を図ります。

第13条 執行役員会は役員会を円滑に運営するために設ける。

2 執行役員会は役員会の前に開催し、運営方針、報告事項案、協議事項案をまとめる。

3 執行役員会は支部長、副支部長、事務局長、事務局次長、会計、本部理事、5部会長、顧問、監事、ホームページ担当、事務局員及び支部長の指名者で構成する。

4 役員会は、総会付議事項及び本会重要事項について協議する。

5 役員会は、執行役員会の構成員に各地域の理事、幹事及び第8条(11)記載の実行委員長を付加して構成する。

### 5. 会費 [後期に途中入会する既卒者の会費]

#### 提案趣旨

途中入会者の会費徴収額を第 16 条第 2 号に追加し、取扱いの明確化を図ります。

第 16 条 会員は次号に定める会費を納入しなければならない。

(1) 年会費は原則、支部会費、本部会費あわせ年 2,000 円とする。

(2) 前号に拘らず、新卒者及び 10 月から 3 月末迄に入会する既卒入会者の会費は 1000 円とする。

(3) 第 1 号に拘らず、米寿（当該年中で満 88 歳）以上の年会費は免除する。なお、夫婦会員がともに米寿以上の場合は年会費を免除する。

(4) 第 1 号に拘らず、夫婦会員・親子会員において、二人目会員の会費は年 1,000 円とする。但し、夫婦会員及び親子会員について、一方が米寿の場合、二人目会員の年会費を 2,000 円とする。

## 6. 支出経費 [生涯学習推進フォーラムの扱いと勘定科目変更]

### 提案趣旨

- ・第 19 条第 3 号の生涯学習推進フォーラムは、会員全員を対象とする行事として馴染まないため文化部会の主管事項とし、主体行事から削除します。
- ・第 18 条第 5 号において、会員に簡易で明確な勘定科目の設定に向けて、科目名の変更、追加及び削除等で支出基準の統一化を図り、対外的にも明確な支出内容を提示します。
- ・第 18 条第 5 号において、総務費削除、科目名変更は本部会費と諸会費及び会議費、追加は消耗品費、修繕費、保険料及び予備費として勘定科目の仕分けを容易化し、見解統一を図ります。

第 18 条 本会の維持運営及び各種行事開催に要する経費を、次を通り整理する。

(1) 本部会費 (本部で定められた額)

(2) 5 部会活動費 (健康・文化・研修・地域活動・広報)

(3) 本会主体行事費 (新入会員歓迎会&大津の集い・~~生涯学習推進フォーラム~~・新年会等)

(4) 地域活動支援費 (地域ミーティング等)

(5) 本会活動費 (~~総務費、本部会費、諸会費、会議費~~、事務費、消耗品費、修繕費、交通費、通信費、保険料、雑費、予備費)

2 経費は、請求書に基づく支払、立替え及び仮払いの精算による支払いとする。

## 7. 物品管理 [物品の棚卸]

### 提案趣旨

物品の棚卸を第 19 条第 2 項に点検時期と帳簿の更新を追加し、所有物品の現状把握と適正保管に努めます。

第 19 条 本会の物品管理は、物品管理簿により行い、物品の適正かつ効率的な使用、供用に努める。

2 物品の棚卸は期中と期末に行い、物品管理簿の改訂を行う。

第4号議案

令和2年度役員改選 (案)

役職名	地域	氏名
支部長	藤田 順一	
副支部長	比叡	久保 和巳
	中央	釜淵 佳明
	石山	河嶋 文雄
	瀬田	荒堀 勝正
事務局長	河村 良一	
事務局次長	河野 安明	
会計	松井 清	
監事	大塚 庸行、 詫間 秀夫	
顧問	佐瀬 章男、岩田 和彦	
HP担当	中村 登	

役職名	氏名
健康部会長	大口 正勝
副部会長	上野 正男、岸 研治
文化部会長	橋爪 一雄
副部会長	栗山 悟
研修部会長	中村 一馬
副部会長	小篠 伸二
地域活動部会長	河嶋 文雄 (兼務)
副部会長	石飛 博高、栗田 昇
広報部会長	住若 富子
副部会長	中村健一郎

本部役職名	氏名
副会長	藤田 順一
常任理事	藤田 順一
理事	荒堀 勝正、河嶋 文雄
HP担当	中村 登

事務局担当地域	事務局員氏名
比 叡	一色 実
中 央	住若 富子 (兼務)
石 山	河野 安明 (兼務)
瀬 田	中村 登 (兼務)

実行委員長・副実行委員長

行事名	氏名・担当
新入会員歓迎会&レイカ 大津の集い	委員長 栗山 悟
	副委員長 ———
新年会	委員長 河村 良一
	副委員長 大野 光男

地 域	地 区	理 事	幹 事
比叡	志賀	福元 隆広	岸 研治 田北 憲広
	堅田	栗山 悟	後藤 耕司 中村 十規人 大野 光男
			大口 正勝
	唐崎	松井 清	北浜 靖朗 荒木 博美 福井 かおる
日吉	一色 実	和田 紀久子 吉田 愛子	
中央	皇子山	清水 初美	武川 忠男 近藤 博次
	打出	大塚 庸行	住若 富子 的場 令子
	平野	室 年昭	野村 稔 首藤 優克 井上 ことみ
			山村 則男 柏木 明美 詫間 秀夫
膳所	釜淵 佳明	中村 一馬 新藤 和義	
石山	晴嵐	岸場 栄蔵	松岡 克実 増尾 兆栄 小篠 伸二
	南郷	住田 健	河嶋 文雄 木本 修二 門間 正憲
			脇田 進 西山 忠雄 河野 安明
			永尾 正昭 茨木 慶一 遠藤 修一
	田上	徳本 敏子	小林 茂
			近藤 修 安藤 気沙代 石井 紀子
青山	井口 ちえ子	古市 豊	
瀬田	瀬田	松村 康数	清田 輝夫 北川 里子
			中村 登 隠岐 正 長 幸雄
	瀬田北	棚橋 啓	荒堀 勝正
	月輪	石飛 博高	原田 勲 阪口 紀代子 宮下 康子
			河村 良一 栗田 昇
一里山	岩田 隆	中村 健一郎 杉山 明	
		梅田 和美 本郷 芳紀 上野 正男	
			中川 幸子

	瀬田南	中西 徹	橋爪 一雄	大坪 賢一
--	-----	------	-------	-------

役員退任者 お疲れさまでした。

奥田 耕治	岡崎 一郎	清水 雅文	千葉 啓子	今井 茂美	今井 和行	千田 素子
森村善三郎	高浜 正	炭本 尚子				

## 第5号議案 令和2年度事業計画（案）

### I. 2019年度事業の総括と課題

#### 1. 総括

2019年度の事業計画は、「会員の確保」と「親しみやすい組織づくり」を目指し会員の活動の安全と、健康づくりを主眼としておりました。会員の確保は新入会員を増やすことと、退会される方をできる限り減らすことが重要ですが、卒業生の意識や価値観の変化もあり、また、同窓会活動への理解を十分に浸透させることが出来ずに、39期の方が途中入会されたものの新卒40期の入会者数は減少しました。

今年度はその反省も踏まえ、一歩進んで大津市内からできる限り多くの新入学生を迎えることが重要だと考えて学生募集活動に注力致しましたところ、市内からの入学生を大幅に増やすことが出来ました。

各地域、5部会も積極的に取り組み活発に展開頂いたお陰で、諸行事、諸活動に例年にもまして多くの方に参加頂きました。

#### 地域活動部会

昨年度から参加したゲームコンダクターとしてのスポーツ振興に寄与する活動も、軌道に乗り始めて「まちなか支援」の大きな柱になりました。関係各所からも期待される存在になりました。

「小学校支援」もますます多くの小学校で実施され、教育委員会から「教育功労賞」を授与されるに至ったことは、長年の私たちの活動が認められた証であろうと考えています。

#### 健康部会

会員相互の親睦と健康増進を図るために、グラウンドゴルフ大会、ディスコン大会の他にニュースポーツを取入れたり、他の支部や地域の方々との交流を図るなど、会員のニーズを常に把握しながら積極的に取り組みました。

#### 研修部会

教養と知識の向上のために、個人ではなかなか行けない場所や施設の見学・研修や、学術的な講話などを実施致しました。

#### 文化部会



生涯学習フェスティバルから移行した生涯学習推進フォーラムでは、他の団体との交流も出来て大変有意義なものになって参りました。

更に各サークルも活発に活動したことで、対外的な評価も飛躍的に向上致しました。

### 広報部会

回を重ねること 68 号になる「かけはし」も、関係者の尽力により計画通り発行できました。

お陰様で、本部主催の地域活動事例発表会でも披露することができました。毎号知事などにもお届けしておりますが、昨年 7 月に行われた三日月知事の講演の中で、知事が「かけはし」の名をあげて触れて下さったことをご承知の通りです。またホームページ担当のタイムリーな情報発信で、閲覧者も飛躍的に増加しました。

### 事務局

支部運営の要として、支部活動全体を把握しサポート致しましたことは周知の通りです。最大行事である「新入会員歓迎会&大津の集い」の企画運営や、総会、執行役員会、役員会などの開催準備、更には必要に応じた会則改定案の策定、活動の「見える化」に欠かすことの出来ない「活動報告書」の作成や、会員名簿の改訂など、あらゆる分野での支援サポートで諸行事も円滑に当初の予定通り執行できました。

### 会計

支部会計の安定化を図り、助成金の申請に積極的に取り組みました。採択された助成金をボランティア保険料のほか、ビブスや横断幕、剪定道具など、活動の見える化に資する物品購入に充当し、一般会計の経費節減に結びました。助成金の支出超過額が約 11 万円になり地域活動費を膨らませましたが、一時的な超過と考えております。今後も支部活動をアピールして、助成金採択に尽力して参ります。

### 知名度向上プロジェクト

数回のプロジェクト会議を開催し、市役所や教育委員会にも“私たちの活動の周知を図ろう”という意見の後押しを受けて、市長に対するアプローチを推進しました。長等小学校での活動の視察を受けたり、市長ミーティングに参加する機会を得たりと、一定の成果がありました。お陰様で教育委員会より「教育功労賞」を受賞したことは、あまねくご承知頂いている通りです。もとよりボランティア活動は表彰を受けるために行っている訳ではありませんが、活動成果にふさわしい評価があってしかるべきだとも考えています。地域の方々にも活動の理解を得るために、ビブスの購入や横断幕の購入で活動を知らしめることになったのも、プロジェクトの成果だと考えています。まだ、緒についたばかりで龍谷大学との協働や市役所の自治協働課との連携も道半ばですが、地道な努力の積み重ねが花開くものと確信しております。

### 人材育成

次期役員を選出は、困難を極めました。各地域も役員を選出に人材不足が見られ、心許ない状況です。卒業期の若い方々や女性の役員への登用を進め、人的基盤の強化を図って行かねばなりません。

## 2. 課題

### ① 会員の確保

2年間、会員の確保に注力してきましたが、その目標を達成できたとは思いません。毎年 3 月には何名かの退会者が出て会員数が減少し、秋に新卒の新入会員を迎えて会員が増えるパターンを繰り返しています。最も危惧することは、せっかく入会されたのに同窓会の中に居場所を見つけれず、会員として留まる意義を無くさせてしまっていないか、ということです。対策は今後の課題と考えています。

### ② 活動分野の拡大

地域貢献活動を中心に支部活動を展開しながら、環境・福祉・文化面等にも活動を広げる努力をして来ましたが、さらに具現化を図る必要があります。人材発掘にも繋がると考えています。

### ③ 知名度向上

知名度向上プロジェクトを立上げ、ビブスと横断幕の活用で一定の成果を上げて参りました。引き続き行政への働きかけをして、積極的に活動のPRを続けて行こうと考えています。龍谷大学との協働や、市民との繋がり・連携を図っている市民部自治協働課との連携を具体化させていく必要があります。

### ④ 助成金の獲得

支部会計の安定化と健全化のため、助成金の採択を確実にすることが大切です。助成金情報に目を凝らし、機会を的確にとらえて助成金申請を積極的に進めることが必要です。

### ⑤ 人材育成

会務の軽減化を進める必要はありますが、役員の選出がスムーズにできるよう若い層や女性に役員経験者を増やす努力が求められます。

## II. 令和2年度の事業計画

### 1. 事業の方針

同窓会の目的としているところは、1. 会員相互の親睦交流、2. 諸活動を通じて地域社会の発展に貢献（5部会と各サークル活動）、3. 母校の発展に寄与することにあります。この目的に沿って事業を進めて参ります。前年度の課題を踏まえ、令和2年度事業計画を以下に示します。

重点施策は、以下の通りです。

- ① 会員の確保
- ② 部会・サークル活動の充実と拡大
- ③ 知名度向上
- ④ 財政健全化
- ⑤ 人材育成
- ⑥ 関連先との連携強化

### 2. 令和2年度の重点施策

#### ①会員の確保

会員相互の親睦交流行事では、「新入会員歓迎会&大津の集い」と「新年会」及び「地域ミーティング」を大きな取組みにしていますが、会員の退会を防ぐためにも親睦交流行事は大切であり、更に工夫するところが無いか検討して参ります。

各種の行事や事業に於いて、役員を中心に face to face の呼びかけや誘いあいをして、会員の皆様が同窓会の中に居場所を見つけられるように努めてまいります。さらに、卒業生が同窓会に全員入会することに繋がる様に、2年生には同窓会大津支部の活動説明会、1年生には地域体験活動の説明会を活用して参ります。

#### ②部会・サークル活動の充実と拡大

5部会と各サークル活動では、役員に対し所属している部会あるいはサークルに積極的に参加することを促し、会員には、地域の担い手として地域活動に気持ちを新たに取り組んで頂くと共に、会員の健康増進や教養あるいは趣味を深める機会づくりを進めます。

大津支部は滋賀県、大津市、社会福祉協議会そして地域に対し、小学校支援活動を大きな特徴として活動をしており、引き続き積極的に継続して行きます。また会員が楽しめて交流が深まるサークルや趣味の会の新たな形成に努めて参ります。新たな活動分野の開拓は、女性会員の出番や居場所の確保のほか、人材の発掘にも通じるものと考えています。

## 地域活動部会

小学校支援活動とまちなか支援活動を、二本柱として継続します。小学校校庭美化活動中に、同窓会大津支部の横断幕を掲示しビブスを着用することで、知名度向上と存在感をアピールして行きます。校庭美化活動に、近隣の地域住民の参加を期待しているところです。当然のことながら、活動中の安全確保には万全を期して参ります。とりわけ作業前の始業ミーティングを確実にを行い、使用器具の正しい取扱いや危険個所の確認、危険防止策を徹底させます。

昨年から開始した、唐崎やよい作業所の陶芸支援は陶芸学科卒業者の新たな活動機会になっており、継続的な支援を行います。

スポーツゲームボランティアでは、滋賀レイクスターズと連携してゲームコンダクターの活動を行います。新たな取組として「大津っ子まつり」に大津支部として参加出来ないか、知名度向上プロジェクトと共に検討を進めて参ります。

## 健康部会

会員相互の親睦と健康増進を図るため、これまでの事業に新企画も検討し、他の支部や地域の方々との交流を図るなど、会員のニーズを常に把握しながら積極的に取り組みます。

## 研修部会

教養と知識の向上のために、今年度も個人では行きにくい場所や施設の見学・研修や、学術的な講話、歴史探訪などを実施致します。

## 文化部会

生涯学習センターで開催する作品展示と市民陶芸講座の支援活動に加え、今年はサポートの会中心に実施されるイオンモール草津での作品展に協力します。また生涯学習推進フォーラムに積極的に参加し、他団体との交流に努めます。これらの活動を通じて学生募集活動も行い、レイ大の応募者確保に継続的な貢献を行います。

令和2年3月末に予定していた平和堂坂本店の作品展とマジック、紙芝居等のイベントは直前に中止になりましたが、再度の企画をして学生募集活動にも生かしたいと考えています。

## 広報部会

大津支部の活動紹介の貴重な情報発信となっている「かけはし」は、4回／年の発行を継続します。昨年度は高齢者の交通安全キャンペーンを掲載しましたが、今年度も会員の身近な関心事（健康・医療・生活など）の知識習得のために、特集記事を掲載することを検討して行きます。またホームページの充実と維持管理に努めます。

## 事務局

支部運営や5部会支援、さらに全体の諸行事に関わり、出来るだけ負担の軽減を図りながら進めます。執行役員会、役員会は出来るだけ時間短縮に努めると共に、現状のそれぞれ8回／年の実施の見直しも進め、関係者の負担軽減に努めます。助成金の申請については、支部長と事務局との協働体制を検討して参ります。

また平成30年度に実施した37期と38期生の地域貢献活動等調査に続き、今年度は39期及び40期会員の調査を行って、会員の活動状況の把握に努め、新たな活動への手掛かりを探ります。新たな活動領域を開くことは、人材育成と女性の参画を推進するものと考えています。

## ③知名度向上

知名度向上プロジェクトは継続し、龍谷大や行政とのつながりを確かなものにして参ります。

小学校支援活動はじめゲームコンダクター活動などでは、ビブス着用とレイカ大津の横断幕の使用を実施し、市民の誘いこみを図るとともに知名度向上に努めて参ります。

## ④財政健全化

同窓会は、会員各位からの会費で運営しておりますので経費節減に努めながら、各種助成金の

獲得に努めて参ります。イオン系列の「幸せの黄色いレシートキャンペーン」の参加を、継続して行きます。

#### ⑤人材育成

先ずは会員の支部活動への積極的参加を、役員が先頭になって促し、地域貢献活動の多様化で活動機会を拡げ、卒業期の若い方々や女性の役員への登用を進めて、支部の人的基盤の拡大と強化を図って参ります。

#### ⑥関連先との連携強化

同窓会本部、大学事務局、サポートの会、えにしの会との連携を進めて行き、大津市社会福祉協議会や教育委員会、市民部自治協働課その他関係先とも出来るだけ連携を密にして、大津支部活動の活性化や見える化に活かして参ります。

以上の諸施策は会員各位のご理解とご協力によって進めることが出来ます。ご支援のほどよろしく願致します。

## 第6号議案

## 2020年(令和2年)度 収支予算(案)

自 2020年4月1日

至 2021年3月31日

(収入の部)

(単位:円)

科目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減額(A-B)	備考
繰越金	139,069	180,907	△ 41,838	
会費収入	467,000	451,000	16,000	2,000円×222名 1,000円×23名
雑収入	10,000	5,000	5,000	本部交付金 黄色レシート寄付金
合計	<b>616,069</b>	<b>636,907</b>	<b>△ 20,838</b>	

(支出の部)

(単位:円)

科目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減額(A-B)	備考	
同窓会本部会費	122,500	118,000	4,500	5,000円×245名	
諸会費	8,000	0	8,000	おおつ環境フォーラム・市社協の会費及び賛助金	
事業費	健康部会	30,000	30,000	0	
	文化部会	28,000	28,000	0	
	研修部会	30,000	30,000	0	
	地域活動部会	57,000	61,000	△ 4,000	
	内 地域活動費	33,000	33,000	0	
	〃 支援費	24,000	28,000	△ 4,000	地域ミーティング補助
	広報部会	60,000	57,000	3,000	会報誌発行経費 HP関係
小計	205,000	206,000	△ 1,000		
イベント	新入会員歓迎会&レイカ大津の集い	72,000	72,000	0	
	新年会	14,000	12,000	2,000	
	生涯学習推進フォーラム	2,000	2,000	0	
	小計	88,000	86,000	2,000	
会議費	55,000	57,000	△ 2,000	総会費用 会議室料 会議資料印刷代	
事務費	8,000	38,000	△ 30,000	事務消耗品費 日用品費 雑品	
修繕費	5,000	0	5,000	メンテナンス代	
消耗品費	25,000	0	25,000		
交通費	2,000	3,000	△ 1,000		
通信費	5,000	8,000	△ 3,000		
保険料(注)	52,500	0	52,500	ボランティア活動保険料(350円×150名)	
雑費	5,000	7,000	△ 2,000	送金手数料 助成金申請関係	
支出合計	581,000	523,000	58,000		
予備費	35,069	113,907	△ 78,838		
合計	<b>616,069</b>	<b>636,907</b>	<b>△ 20,838</b>		

(注)前年度同様受取助成金をボランティア活動保険の掛け金に充当可能なら保険料の支出は無くなる。

# 滋賀県レイカディア大学同窓会大津支部会則（改定後）

（名称）

第1条 この会は、滋賀県レイカディア大学同窓会大津支部（愛称 レイカ大津）という。

（会員）

第2条 この会は、大津市在住の滋賀県老人大学校及び滋賀県レイカディア大学を卒業した者で、この会の目的に賛同する者をもって会員とする。

（事務所）

第3条 この会は、事務所を大津支部長宅に置く。

（目的）

第4条 この会は次の事項を目的とする。

- (1) 会員相互の親睦と教養の向上を図る
- (2) 諸活動を通じて地域社会の発展に貢献する
- (3) 母校の発展に寄与する

（事業）

第5条 この会は、前条の目的達成のために次の事業を行う。

- (1) 研修会、親睦会、講演会等に関する事業
- (2) 文化、スポーツ活動に関する事業
- (3) 地域社会の貢献に関する事業
- (4) 母校の発展に寄与する事業
- (5) 同窓会本部事業に関する事
- (6) その他目的達成のために必要な事業

（部会の設置と分掌事業）

第6条 前条の事業を行うため、次の部会を設け分掌事項を定める。

- (1) 健康部会は会員の健康増進のためのスポーツに関する事業
  - ・ グラウンドゴルフ、ゲートボール、ウォーキング、ハイキング等の実施
  - ・ 県、市の団体等が開催するスポーツ行事への参加
- (2) 文化部会は会員の趣味を生かした文化活動に関する事業
  - ・ 文芸、園芸、陶芸、彫刻、絵画、書、写真等の作品展の開催
  - ・ 短歌、俳句、川柳、絵手紙、パソコン同好会等のサークル活動
  - ・ 囲碁、将棋、マージャン、コーラス、カラオケ、マジック等のサークル活動
  - ・ 生涯学習推進フォーラム
- (3) 研修部会は会員の教養向上の為の研修事業に関する事業
  - ・ 研修旅行等の策定及び実施
  - ・ 講演会、公開講座、発表会等に関する事
- (4) 地域活動部会は地域の福祉、環境等にかかるボランティア活動に関する事業
  - ・ まちなか貢献活動（大津祭、ヨシ刈り、スッキリ士隊、囲碁・将棋対局など）
  - ・ 4 地域毎の小学校支援活動
- (5) 広報部会は会報及びホームページ等の編集、発行に関する事業

## 2 部会

- (1) 役員は少なくとも一つの部会に部会員として所属する。ただし、会員希望による加入も可能とする。
- (2) 会員の部会入会先は原則自由とする。ただし、支部長、事務局長、事務局次長、HP 担当、事務局員

若干名、顧問1名は広報部会の所属とする。

(3) 部会長は第9条(1)記載の選考委員会によって推薦され、執行役員会及び役員会で協議し総会で決定する。なお、部会事情により副部会長を選出することもでき、部会長と同様に決定する。

(4) 部会の提案事項(事業等)は部会長が役員会にはかり協議決定する。その広報(かけはしへの掲載と配布、チラシの配布等)は支部組織で実施する。

(5) 部会長等交代時の業務引継ぎについて、別紙細則に基づき円滑な業務運営に努める。

各行事終了後、副支部長、部会長、及び各実行委員長は、支部活動報告を提出する。

(地域)

第7条 この会の地域を、下記の通りとする。

地 域 名	地 区 名	地区数
比 叡	志賀 堅田 日吉 唐崎	4
中 央	皇子山 打出 平野 膳所	4
石 山	晴嵐 南郷 田上 青山	4
瀬 田	瀬田 瀬田北 瀬田月輪 瀬田一里山 瀬田南	5

2 地域割りは、実施要領を定め決定する。

(役員)

第8条 この会に次の役員を置く。

(1) 支部長 1名 (2) 副支部長 4名 (3) 部会長 5名 (4) 事務局長 1名

(5) 事務局次長 1名 (6) 会計 1名 (7) 理事 原則として各地区 1名

(8) 幹事 各地区に若干名 (9) 監事 2名 (10) ホームページ担当 1名

(11) 新入会員歓迎会&大津の集いと新年会の実行委員長 各1名

2 この会に顧問と事務局員を置くことができる。

(役員を選任)

第9条 役員を選任は次によるものとする。

(1) 支部長、副支部長、部会長、事務局長、事務局次長、会計、監事、顧問及びホームページ担当は選考委員会(支部長、事務局長、事務局次長、会計、副支部長、各部会長等を含む支部長指名者で構成)において推薦し、執行役員会及び役員会で協議し、総会において決定する。

(2) 副支部長は、原則として第7条の地域(4地域)の理事と幹事の中から、各1名を候補者に選出する。

(3) 事務局員は支部長、副支部長、事務局長が協議し選出し、執行役員会及び役員会にはかり決定する。

(4) 監事は第8条記載の理事と幹事を除く他の役員を兼務することはできない。

(5) 理事は、第7条の地区の幹事の中から1名を互選する。

(6) 幹事は、第7条の地区から選出する。

(7) 本部理事は、支部長が役員会にはかり決定する。

(8) 新入会員歓迎会&大津の集い及び新年会の正副実行委員長は、各地域から2名ずつ選ばれた担当役員の互選によって各1名を選出する。但し新年会の実行委員長は各地域の輪番制とする。

(役員の仕事)

第10条 役員の仕事は次による。

(1) 支部長はこの会を代表し、会務を統括する。

(2) 副支部長は各地域を代表し、地域を取りまとめ会務の執行にあたる。

(3) 部会長は、本会の目的達成のために担当事業を主管し執行する。

(4) 事務局長は支部長を補佐し、この会の会務執行に関する調整、事務事項の取りまとめを行う。

(5) 事務局次長は事務局長を補佐し、事務局員は事務局次長を補佐する。

(6) 会計はこの会の会計事務を担当する。

- (7)顧問は、会務に関する助言を行う。
- (8)理事は地区を統括し役員会の構成員として会務の執行にあたり、資料配付の主担当とする。
- (9)幹事は理事を補佐するとともに役員会の構成員として会務の執行にあたる。
- (10)監事はこの会の会計を監査する。
- (11) ホームページ担当はホームページを作成し、維持管理する。
- (12) 第8条(11)記載の実行委員長は、各事業に関わる責務を遂行する。

(役員任期)

- 第11条 役員任期は2年とする。ただし再任は原則として1期を限度とする。
- 2 役員に欠員が生じたときは、役員会において選任補充する。補充者の任期は前任者の残任期間とする。
  - 3 期中途における役員増員は可能とする。その任期は現任者の任期の残存期間とする。

(会議)

- 第12条 会議は、総会及び役員会とし支部長が召集する。
- (1)総会は、定期総会と臨時総会とする。定期総会は、年1回開催する。  
臨時総会は、役員会が必要と認めたとき開催する。
  - (2)役員会は、支部長が必要と認めたとき開催する。
  - (3)総会の議長は、出席した会員のうちから選任する。
  - (4)役員会の議長は、副支部長が順番にこれにあたる。
  - 2 事業計画及び予算の決定、事業報告及び決算の承認、会則の制定、改廃については、総会の議決を得なければならない。
  - 3 会議は、構成員の過半数(委任状を含む)の出席を得て開催するものとする。

(執行役員会及び役員会)

- 第13条 執行役員会は役員会を円滑に運営するために設ける。
- 2 執行役員会は役員会の前に開催し、運営方針、報告事項案、協議事項案をまとめる。
  - 3 執行役員会は支部長、副支部長、事務局長、事務局次長、会計、本部理事、5部会長、顧問、監事、ホームページ担当、事務局員及び支部長の指名者で構成する。
  - 4 役員会は、総会付議事項及び本会重要事項について協議する。
  - 5 役員会は、執行役員会の構成員に各地域の理事、幹事及び第8条(11)記載の実行委員長を付加して構成する。

(議決)

- 第14条 会議の議決は、会議に出席した構成員の過半数(委任状を含む)の同意を以て決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。

(会計年度)

- 第15条 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(会費)

- 第16条 会員は次号に定める会費を納入しなければならない。
- (1)年会費は原則、支部会費、本部会費あわせ年2,000円とする。
  - (2)前号に拘らず、新卒者及び10月から3月末迄に入会する既卒入会者の会費は1000円とする。
  - (3)第1号に拘らず、米寿(当該年中で満88歳)以上の年会費は免除する。  
なお、夫婦会員がともに米寿以上の場合は年会費を免除する。
  - (4)第1号に拘らず、夫婦会員・親子会員において、二人目会員の会費は年1,000円とする。但し、夫婦会員及び親子会員について、一方が米寿の場合、二人目会員の年会費を2,000円とする。

(助成金他)

- 第17条 諸団体からの助成金は一般会計と区分し管理する。



なお、寄付金等については一般会計で整理する。

(支出経費)

第18条 本会の維持運営及び各種行事開催に要する経費を、次を通り整理する。

- (1) 本部会費 (本部で定められた額)
- (2) 5部会活動費 (健康・文化・研修・地域活動・広報)
- (3) 本会主体行事費 (新入会員歓迎&大津の集い・新年会等)
- (4) 地域活動支援費 (地域ミーティング等)
- (5) 本会活動費 (本部会費、諸会費、会議費、事務費、消耗品費、修繕費、交通費、通信費、保険料、雑費、予備費)

2 経費は、請求書に基づく支払、立替え及び仮払いの精算による支払いとする。

(物品管理)

第19条 本会の物品管理は、物品管理簿により行い、物品の適正かつ効率的な使用、供用に努める。

2 物品の棚卸は期中と期末に行い、物品管理簿の改訂を行う。

(承認及び報告)

第20条 収支決算書、並びに収支予算案は、総会に付議し承認を受けるものとする。

なお、収支決算書は監査を受けたものに限る。

(個人情報保護)

第21条 本会の活動を遂行するのに必要とする個人情報の取得、利用、提供及び管理については、個人情報保護方針を定め、適正に運用するものとする。

2 個人情報を収集する際の文書及び収集した個人情報の下に、個人情報保護方針準拠マークを表示、貼付することで個別の文書(同窓会は除外)が大津支部個人情報保護方針に準拠して管理されていることを表示する。

附則

1984年(昭和59年)	11月施行、	1996年(平成8年)	4月13日一部改正
2003年(平成15年)	4月26日一部改正、	2004年(平成16年)	4月24日一部改正
2006年(平成18年)	4月23日一部改正、	2008年(平成20年)	4月20日一部改正
2009年(平成21年)	4月25日一部改正、	2010年(平成22年)	3月30日一字訂正
2011年(平成23年)	4月23日一部改正、	2012年(平成24年)	4月21日一部改正
2013年(平成25年)	4月20日一部改正、	2014年(平成26年)	4月18日一部改正
2015年(平成27年)	4月18日一部改正、	2016年(平成28年)	4月20日一部改正
2017年(平成29年)	4月20日一部改正、	2017年(平成29年)	4月1日施行
2018年(平成30年)	4月26日一部改定	2018年(平成30年)	4月1日施行
2019年(平成31年)	4月11日一部改定	2019年(平成31年)	4月1日施行
2020年(令和2年)	4月9日一部改訂	2020年(令和2年)	4月1日施行



# レイカディア讃歌

(レイカディア大学校歌)

高城修三 作詞  
下村正勝 作曲  
廣瀬量平 補作  
編曲

さわやかに *mf*

1. お お み の も な か あ お き う み  
2. (あお) か き つ ら かね す ず か ひ ら  
3. (あわ) う み う つ す あ お き そ ら

さ さ な み よ せ る か ろ 一 き お り と  
み ね に た が わ む る かし ら 一 と お の  
う ち ち う が み せ る ふ か 一 き か お

*f* *V*  
い つ ま で も つ き る こ と な き そ の お も い と も  
は つ る こ と な き そ よ ろ こ び と と も  
き ゆ る こ と な き そ の ま こ と と も

*p* *mf*  
に ま な ば ん さ わ 一 や か し に レイ  
に あ そ き ば ん ら る 一 わ し く く  
に い き な ん か ん ぎ 一 リ な く

*f* 1, 2. 3.  
カディア レイ カディア わが レイ カディ ア あ お ア  
あ わ

## レイカディア讃歌

- 一、近江の最中 青き湖  
ささなみ寄せる 軽き音  
いつまでも 尽きることなき  
その思い  
ともに学ばん さわやかに  
レイカディア レイカディア  
わがレイカディア
- 二、青垣つらね 鈴鹿比良  
峰にたわむる 白鳥の  
いつまでも 果つることなき  
歎びを  
ともに遊ばん うるわしく  
レイカディア レイカディア  
わがレイカディア
- 三、淡海映す 蒼き空  
宇宙が見せる 深き貌  
いつまでも 消ゆることなき  
その真実  
ともに生きなん かぎりなく  
レイカディア レイカディア  
わがレイカディア